

しろいし shiroishi city council paper 市議会だより

2026年
冬
第220号



令和8年1月2日
第60回弥治郎こけし初挽き
新山吉紀工人 新山真由美工人

2~4P 12月定例会の概要・審議した議案

4~9P 市政に対する一般質問(10名)

10P 「市民と議会の意見交換会」

開催のお知らせ・編集後記

議会を傍聴しませんか？

2月定例会は、2月13日（金）午前10時開会予定です



インターネット中継



傍聴のしかた



市長の提案理由説明

条例等

◎宮城県市町村職員退職手当組合規約の変更について

宮城県市町村職員退職手当組合は、当該組合の規約に基づき、議員報酬などを支給しているが、議員報酬など支給しない旨の規定を削除する提案で、組合長からの規約変更協議が発端であると聞いていることなどを鑑み、議員報酬などを支給すべく、規約を変更

令和7年12月定例会は、12月9日から12月22日までの14日間の日程で開催されました。定例会初日、市長提出議案は、報告1件、専決2件、条例他10件、予算5件の計18件でした。全ての議案の提案理由の説明が行われ、このうち議案第65号から議案第69号は採決の結果、全会一致で承認・可決しました。

一般質問は、12月12日と12月15日の2日間で、10名の議員が質問を行いました。

4日目(12月17日)、議案第70号から議案第81号までの質疑が行われ、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

定例会最終日(12月22日)の本会議において、市長提出議案7件(議案第82号から第88号)が追加提案され、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

令和7年12月定例会は、12月9日から12月22日までの14日間の日程で開催されました。定例会初日、市長提出議案は、報告1件、専決2件、条例他10件、予算5件の計18件でした。全ての議案の提案理由の説明が行われ、このうち議案第65号から議案第69号は採決の結果、全会一致で承認・可決しました。

12月定期会 一般会計補正予算など25議案を可決

12月定例会で審議した議案

議案番号	件名	報告
議案第8号	市長提案	承認
議案第65号	損害賠償額の決定及び和解について 専決処分の承認を求めるることについて（専決第12号） （令和7年度白石市一般会計補正予算）	
議案第66号	専決処分の承認を求めることについて（専決第13号） （令和7年度白石市一般会計補正予算）	
議案第67号	訴えの提起について	
議案第68号	東北縦貫自動車道弘前線（仮称）白石中央スマートインターチェンジ整備事業の実施に關する工事細目協定書の変更について	
議案第69号	東北自動車道を横過する白石市が管理する跨道橋の撤去工事等に係る工事細目協定書の変更について	
議案第70号	宮城県市町村職員退職手当組合規約の変更について	
議案第71号	白石市駐車場条例の一部を改正する条例	
議案第72号	白石市特定乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	
議案第73号	白石市乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例	
議案第74号	白石市道路線の廃止について	
議案第75号	指定管理者の指定について（白石市中心市街地活性化交流広場）	
議案第76号	指定管理者の指定について（白石市障害者地域活動支援センター ボプラ）	
議案第77号	令和7年度白石市一般会計補正予算（第4号）	
議案第78号	令和7年度白石市国民健康保険特別会計補正予算（第3号） 令和7年度白石市介護保険特別会計補正予算（第2号）	
議案第79号	原案可決	審議結果

手当組合(以下組合)では組合設立時と比較し、役員・議員の負担が増している。この重責ある立場を明確にするため、組合設立時から支給していなかた議員報酬等について、地方自治法の趣旨に鑑み、組合議会の全員協議会などで協議を行い、支給に向けた見直しの検討を重ねてきた。今回、構成団体へ依頼している協議についても組合議会の理解を得たうえで進めており、すべての構成団体から議決を受けた後、県の変更認可を受け、組合議会において規約の一部変更を行う予定である。

◎白石市駐車場条例の一部を改正する条例

令和8年度から白石駅前・東口駐車場、白石蔵王駅東口・西口駐車場および銚子ヶ森駐車場を包括的民間委託により民間事業者へ業務委託することに伴い、駐車料金の支払い方法を現金以外でも対応できるよう、条例の一部を改正するもの。

現在、指定管理者制度により管理が行われている指定期間が、令和8年3月31日をもって終了することから、改めて施設の管理を行わせる指定管理

部を改正する条例において、駐車料金の支払い方法を現金以外でも対応できるようにする立場を明確にするため、組合設立時から支給していなかた議員報酬等について、地方自治法の趣旨に鑑み、組合議会の全員協議会などで協議を行い、支給に向けた見直しの検討を重ねてきた。今回、構成団体へ依頼している協議についても組合議会の理解を得たうえで進められており、すべての構成団体から議決を受けた後、県の変更認可を受け、組合議会において規約の一部変更を行う予定である。

◎指定管理者の指定について（白石市中心市街地活性化交流広場）

窓口まで来る負担を軽減できると想定している。

予 算

◎令和7年度白石市一般会計補正予算(第4号)

○病院事業会計補助金

5000万円

【歳出】

○病院事業会計補助金

5000万円

【質疑】

PFI事業者が行なつた地盤調査で判明した、液状化の範囲および評価指標数値を含めた調査結果の詳細は。

○PFIによる道の駅・防災公園整備事業

4億2185万一千円

とは、具体的にどのような取り扱いを検討しているのか。

【質疑】これまで時間貸し駐車場の場合、出庫時に現金のみの精算であったが、これからは現金のほかクレジットカード、電子マネーでの支払いを想定している。またこれまで定期利用者は、駅や市役所の窓口でパスカードおよび納付書を発行し現金納付していたが、これらはインターネットによる申し込みやクレジットカード、電子マネーでの支払いを可能とし、窓口まで来る負担を軽減できると想定している。

者およびその期間について、地方自治法第244条の2第6項の規定により、議会の議決を求めるもの。

【質疑】指定管理料の金額とその詳細は。

【答弁】指定管理者選定審査会で決定された候補者から、1367万4千円で申し込みがあり、職員の給与・法定福利費など的人件費と、電気料・水道料、灯油代の維持管理に必要な経費を積み上げた額から、指定管理者の収入となる利用料収入分を差し引いて積算している。

○病院事業会計補助金

5000万円

○病院事業会計補助金

ように把握・評価し、市が5000万円を適当と判断したのか。

◎令和7年度白石市一般会計 補正予算(第5号)

いの。

[質疑]しろいし生活応援ボ

額し、予算総額を207億8

491万3千円とする。

【歳出】

○物価高騰対策商品券配布事業

1億7091万1千円

○生活応援ポイント発行事業

3696万6千円

[質疑]物価高騰対策商品券配布事業の詳細は。

[答弁]国の重点支援地方交

付金を財源に、令和8年1月

1日現在で市内に住所を有

する市民を対象に「生活応援

商品券」(「だるくー。ポン」)

を配布するもの。商品券の額

面は5千円とし、500円券

10枚を、大規模店でも利用可

能な共通券4枚、小規模店で

3万セットを令和8年2月か

ら3月末までに、郵送により

各世帯に配布したいと考えて

いる。商品券の利用期間は、令

和8年4月1日から9月30日

までの6か月間を予定して

いた。

市政に対する一般質問

～10名の議員が質問～

12月定例会の一般質問は、12月12日・15日の2日間にわたり行われました。質問の要旨は次のとおりです。

※二次元コードから各議員の質問動画へアクセスできます。

佐久間順子 少子化に伴う子育て支援のさらなる充実について

大内 卓也 本市のクマ対策について

四竈 英夫 クマ出没対策について

高子 秀明

学校再編計画と教育環境及び教育を受ける権利について

角張 大治

議会議員と首長の役割整理と制度理解の促進について

佐藤 龍彦

本市の孤独・孤立死対策について

滝谷 政義

重点支援交付金・推奨事業メニューについて

伊藤 勝美

財政の今後の見通しについて

村上 由紀

白石市博物館基本構想について

クマ出没対策について

四筆 英夫



知を行なっています。



◎冬場の交通安全対策について

【質問】国道113号福岡蔵

本地内の改良工事が終

【質問】今年の秋はこれ
までにない頻度でクマ
が出没している。柿の
実等の食害に加え人への
危害も報道されてい
る。クマが民家に近づ
かないようにするため
の対策を伺う。

【答弁】市民経済部長
収穫しない果実は早め
に処分する。電気柵な
どを設置してクマを寄
せつけない。本市として
は、国や県から発出さ
れる情報を注視し、被
害防除対策として電気
柵の設置支援、廃棄野
菜・生ごみの適正処理、
有害固体の捕獲・放生
する耕作地の除草の周

白石地区交通安全協会
や他の交通安全協会関
係団体と連携して交通
安全の啓発に努めて行
く。

◎冬季間の防火活動について

【質問】乾燥期に入り全
国で火災が発生してい
る報道があるが、市民
に対してどのような防
火の呼びかけをするの
か伺う。

【答弁】危機管理課長
カーブがなくなり道幅
も広く快適な道路とな
った。道路が良くなれば
スピードも出がちにな
る。事故防止についてど
のように対策を講じる
か伺う。

【答弁】危機管理課長
秋の火災予防に合わせ、
消防団には各地区の火
災予防警戒をしてもら
い、婦人防火クラブには
住宅用火災報知機の設
置呼びかけ等をしても
らう。

【答弁】危機管理課長
市学校教育・保育審議
会からの答申を基に、
教育委員会として今年
度中に「小中学校の在
り方に関する基本方針
案」を示す予定である。
児童・生徒数は少子化が
想定以上のスピードで
進行している状況で、お
よそ10年後は現在の5

【質問】プロジェクトチ
ームの基本計画で、想定
する小中一貫義務教育
学校の児童・生徒数、特
別支援を含む学級数、
土地取得予定地と費用、
建設費用、補助金交付
金等歳入について伺う。

【答弁】教育部長
プロジェクトチームの基本計
画は無いが、令和5年7
月に設置された「白石
市学校教育・保育審議
会」からの答申を基に、
教育委員会として今年
度中に「小中学校の在
り方に関する基本方針
案」を示す予定である。
児童・生徒数は少子化が
想定以上のスピードで
進行している状況で、お
よそ10年後は現在の5

割程度と見込まれる。
学校の標準規模は、学
校教育法施行規則に規
定されており、これを踏
まえ特別支援学級につ
いても、支援を必要とす
る児童・生徒の教育的ニ
ーズに対応した必要な
学級数を設置したいと
考えている。

【答弁】市長
学校再編

は児童・生徒、保護者の
みならず、地域の方々と
合意形成を図ることは
極めて重要である。本市
としては、教育基本法
第4条をはじめとする
関連法令および「未来
を拓く学校教育充実化
条例」に基づき、子ども
たちに最善の学びの環
境を提供することを最
優先に考え、持続可能
な学校の在り方を丁寧
かつ着実に検討し、より
よい教育環境の実現に
全力で取り組んでいく。

学校再編計画と教育環境 及び教育を受ける権利について

高子 秀明



—次元コードから各議員の質問動画へアクセスできます。

上している。今後も安全
性や緊急性を十分考慮
し、児童・生徒の安全安
心を第一に取り組んでい
く。

【質問】児童・生徒と教
職員と保護者のみなら
ず、広く市民に透明性
ある合意形成を図る必
要があるが、少子化が
急速に進行している状
況や安全で快適な衛生
環境下での教育を受け
る権利を踏まえた学校再
編の市長の見解を伺う。



割程度と見込まれる。
学校の標準規模は、学
校教育法施行規則に規
定されており、これを踏
まえ特別支援学級につ
いても、支援を必要とす
る児童・生徒の教育的ニ
ーズに対応した必要な
学級数を設置したいと
考えている。

【答弁】市長
学校再編

は児童・生徒、保護者の
みならず、地域の方々と
合意形成を図ることは
極めて重要である。本市
としては、教育基本法
第4条をはじめとする
関連法令および「未来
を拓く学校教育充実化
条例」に基づき、子ども
たちに最善の学びの環
境を提供することを最
優先に考え、持続可能
な学校の在り方を丁寧
かつ着実に検討し、より
よい教育環境の実現に
全力で取り組んでいく。

議会議員と首長の役割整理と制度理解の促進について



角張
七



行政の役割の違いに関する制度理解の普及と、市民への情報提供が不可欠である。近年の投票率低下や政治離れが指摘される中、従来型の啓発では不十分で、「三元代表制」における議員と首長の役割も十分に理解されていない現状があると考えられる。	そこで、主権者教育の視点を踏まえた選挙啓発の在り方や、有権者が適切な判断基準を持つための情報提供について、市の認識と今後	の取り組みを確認する。	市民向けの広報や資料
【質問】議会制民主主義を支えるには、議会と市民への周知の必要性の認識を伺う。	止めてくる。	【質問】投票率向上や選挙啓発を進める上では、議会と行政の役割の違いを市民に明確に伝え、制度理解を深めることが重要である。議会は市の目的や方向性を決め、行政はその実現手段を設計・執行し、議会がその過程と結果を監視・評価する。この役割分担の理解が、有権者が適切な判断や民主主義の基盤につながると	答弁と同様。

長の役割に対する有権者の理解の重要性について、市の考え方を伺う。

〔答弁〕【市長】市民・有権者は、議会議員と首長の役割を理解していると受け止めています。

〔質問〕学校教育や社会教育との連携により、二元代表制の理解、政治的リテラシー向上につながる取り組みを検討できないか伺う。

〔答弁〕【教育長】二元代表制の理解や政治的リテラシーの向上は民主主義を支える上で重要である。学校教育では、学習指導要領に基づき、議会制民主主義や地方自治、選挙制度について体系的に指導しており、適切に行われていると認識している。一方、社会教育については、市民の主体的な学びを尊重し、環境整備に努めていきたい。

対策に
龍彦



独・孤立死は重要な課題であると認識している。特に必要な高齢者の孤独・孤立への対応について「白石市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の施策目標「生きがいづくり」と社会参加・地域での支え合いの促進において「地域での支え合いの促進」を掲げておる、「地域」「ヨコハマ」による生活支援による高齢者の見守りや「生活支援体制整備事業」における地域内の交流など、孤独と孤立といった状況をつくらないための取り組みを行なってい。引き続き、孤独・孤立死のリスク軽減と未然防止に向けた取り組みを着実に進めていきたい。

【その他の質問】 ○国民健康保険税の子 どもの均等割軽減に ついて

独・孤立死は重要な課題であると認識している。特に必要な高齢者の孤独・孤立への対応について「白石市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の施策目標「生きがいづくりと社会参加、地域での支え合いの促進」において「地域での支え合いの促進」を掲げており、「地域」「マネーティによる生活支援」による高齢者の見守りや「生活支援体制整備事業」における地域内の交流など、孤独と孤立といった状況をつくらないための取り組みを行なっている。引き続き、孤独・孤立死のリスク軽減と未然防止に向けた取り組みを着実に進めていきたい。

財政の今後の見通しについて

伊藤 勝美



〔質問〕総務省は、国・地方の財政状況に関して、引き続き厳しい状況にあり歳出削減等を進め、財政健全化を図ることが喫緊の課題となつていると示している。こうした状況は白石市においても同様であり、今後さらなる人口減少と少子高齢化がもたらす税収減の中、老朽化したインフラ、公共施設等の更新費用の増加により歳入減少・歳出増加という厳しい財政状況を迎えることが予測されるが、本市の財政状況について伺う。

〔答弁〕【市長】数年たっては、施設や設備の老朽化状況に応じた対応による増加が見込まれることから、中長期的な財政負担は増加する

ふるさと納税寄付金の受け入れが増えているものの、全体的には人口減少が著しく進んでいることなどが影響して、歳入における自主財源の占める割合が低く、地方交付税や国・県などの補助金の活用に依存する傾向が大きいとともに、基金の活用による財源調整によりバランスをとっている状況である。

〔質問〕今後の公共施設等の更新費用の増加を見据えた現時点での本市財政の中長期的な見通しはどうに推測されるのか伺う。

〔答弁〕【市長】更新にあたっては、施設や設備の老朽化状況に応じた対応による増加が見込まれることから、中長期的な財政負担は増加する

ものと推測をしている。また補助金や地方債で賄えない費用を補つための一般財源は、人口減少の影響を受けて減少するとともに、施設の更新などに伴って借り入れた地方債の償還費用は増加するものと推測している。このことから、本市では「白石市公共施設等総合管理計画」を策定し、長期的な視点で公共施設の全体像を全局的に検討することで、効率的・効果的な公共施設の最適な配置を図ることで、施設の安全に配慮した更新のタイミングと、地方債の償還費増加のバランスに注意を払う必要があると考えている。

〔質問〕文化財の総点数と施設の課題を伺う。

〔答弁〕【生涯学習課長】寄贈資料が9872点、寄託資料が5万点以上、埋蔵文化財資料は約1700箱。保存施設は収蔵スペースが逼迫し、資料整理室も白石城歴史探訪ミュージアムも建設から40年以上経過し、老朽化が進んでいる。

〔質問〕将来的なリスク評価を伺う。

白石市博物館基本構想について

村上 由紀



平成17年に白石市博物館基本構想の答申が示され現在に至るまで、市民から多くの浄財も寄せられたが、20年間具体的な進捗はない。

歴史文化を守るだけでもなくそれを生かすためにも、当初の構想に捉われず実現可能な規模から検討する選択肢もあるのではないか。

〔質問〕文化財の総点数と施設の課題を伺う。

〔答弁〕【教育長】郷土ゆかりの資料や先人の歩みに触れることで、まちへの誇りと愛着が育まれ、シビックプライドを育む中核的拠点になる。

また展示や講座、ワークショップ、学校教育との連携、世代や立場の異なる市民の交流の場を生み出し、地域コミュニティの絆を強める役割

〔質問〕【教育長】温湿度管理や耐震・防火性能が不十分となり、カビや虫害、腐食等による文化財の劣化、災害時の被害拡大、資料受け入れが制約され市外流出や散逸を招く恐れがある。

〔質問〕博物館建設は建

設自体が目的ではなく、

文化財を守り、未来につなぎ、市民が誇れる拠点を整備することに意義があると考へる。

拠点整備の意義と評価を伺う。

〔答弁〕【市長】博物館等

施設は、文化財保全、教育的効果や観光振興、地域経済への波及、郷土への誇りと愛着の醸成など、多面的な効果が期待できる。財政的に持続可能で、市民「一々

にも合致し、既存施設

や周辺観光資源との連

携、他施設との機能複

合化の可能性を総合的

に検討していくなか

ればならない。まずは平成17年に答申を受けた博物館基本構想の見直

しに着手したいと考え

ている。

を果たすと認識している。博物館等施設を核とした魅力発信は、観光や関係人口の拡大、地域経済の活性化にもつながると期待する。



The screenshot shows a blue header bar with white text that reads "白石市議会議録を公開しています". Below the header, there is a search form with a white background. The search input field contains the text "白石市議会 会議録" and has a blue border. To the right of the input field is a blue button with white text that says "検索". A black arrow points to the "検索" button, indicating the user action.

議会を傍聴してみませんか？

2月定例会は、2月13日(金)
午前10:00開会予定です

氏名・住所の記入など、簡単な手続きで傍聴ができます。
また、会議の様子は「インターネット中継」や「録画配信」を行なっております。
ぜひ、スマートフォンやパソコンなどでご覧ください。

<12月定例会>

●傍聴者のべ人数	22人
●ライブ配信視聴回数	517回
●録画視聴回数	248回

※録画配信は、映像の編集を行うため、ライブ配信終了後おおむね5日後(土日・祝日を除く)からご覧いただけます。

インターネット中継

傍聴のしかた

第9回市民と議会の 意見交換会

日時

令和8年3月15日(日曜日)

第1部 10:00～11:30 (受付開始 9:30～)

第2部 14:00～15:30 (受付開始 13:30～)

会場

白石市中央公民館ホール

※申し込み不要。直接会場へお越しください。

形式

ワークショップ（議員4名のグループに参加）

※グループ分けは抽選式とさせていただきます。

テーマ

～私たち市民が考えるまちづくり～
市政への関心を高めて魅力的で若者が住みやすい市であるために

市民の皆さん、いつもありがとうございます。

この意見交換会では、市民と議会の情報を共有する大切な時間です。

初めての方も、ぜひお気軽にご参加ください。

参考資料：第六次白石市総合計画

主 催：白石市議会

お問い合わせ：議会事務局 0224-22-1351

議会広報委員会 委員			
委員長	四竜	英夫	
副委員長	村上	由紀	
委員員	角張	大治	
委員員	佐藤	龍彦	
委員員	高子	秀明	
委員員	大森	貴之	
委員員	佐久間	順子	
委員員	大内	卓也	

さて、社会環境が大きく変化している今、市民の皆さんのが声に耳を傾け、対話を重ねながら課題を共有し、一つ一つ形にしていく事が私たちの大切な使命であると考えます。未来に向けた選択を積み重ねながら、白石のこれからを皆さまと共に描いていく議会を目指してまいります。

本年もよろしくお願ひ申し上げます。

広報委員会では、表紙のデザインと特集ページのデザイン構成の見直し、一般質問への二次元コードの貼付など議会の取り組みが伝わる紙面を目指し、これまで改善を重ねてきました。今後も工夫・改善に努めてまいります。

編集後記